

教養ニュース

SNS講演会

令和5年12月12日 発行
託麻東小学校育友会
育友会会長 中釜 裕二
教養委員長 栗林 美佳

10月13日（金）託麻東校区の防犯協会主催のSNS講演会が開かれました。

第一部は熊本県警察本部生活安全部 生活安全企画課の矢津田竜太様から「少年警察からみたSNS事案の現状・問題点保護者へのお願い」と題してSNSに起因する少年の非行や被害、少年の薬物乱用、現在増加しつつある闇バイトについての話がありました。またこれらの事案に対し警察の取り組みも紹介されました。最近では、ゲームアプリを利用した詐欺事案やSNSを使用した自撮り被害など多様な犯罪が増えていることが分かりました。



講演された（左）矢津田様（右）田中様

第二部では「教育サイドから見たSNSの現状・問題点と保護者へのお願い」と題して長年生徒指導に携われ、現在は学校や少年院などで講演をしながら子どもたちと向き合っておられる熊本市立帯山中学校教頭の田中慎一朗先生のお話でした。田中先生は、スマホの良い面、悪い面の両方を話されました。一軒一軒が遠い過疎の地域等では、スマホやオンラインゲームで子どもたちはつながっているという現状があること、スマホに依存してしまうその背景には、自分の居場所がないと感じる家庭環境なども関係していることを話されました。



実際SNS上でやり取りされている現状を公開しながら説明される田中様

SNSを使用する時は、

○人を傷つけない

○危ない目に遭わない

○使い過ぎて夢の邪魔をしない

これらに気をつけ、私たち保護者もゲーム依存にならない環境作りが大切だと感じました。

そして何より子どもたちが自分は必要とされている、そして困った時にSOSを出すことができる環境を私たちが作っていかねばならない、そのためには、もっと子どもの声に耳を傾け、もっと対話をしなければならないと感じました。



最後まで真剣に聞く保護者の方の様子

今回平日にもかかわらず、ご参加くださいました先生方、保護者の皆様、誠にありがとうございました。